

Women's Initiative for Leadership (第7期)

～成果報告会・修了式の開催～

令和5年11月
経済産業省
経済社会政策室

1. 開催概要

日時：令和5年2月3日（金）15:00～19:00

場所：経済産業省

- ◆ 平成27年より企業横断的な勉強会「[Women's Initiative for Leadership](#)」(略称：WIL)を創設。将来のリーダー候補となる女性に対し、経営者に必要な知見の習得・人的ネットワーク構築の機会を提供。
- ◆ 令和4年6月より、43社からの参加を得て「WIL（第7期）」を実施。**月1回程度の勉強会やグループ別の政策研究**を実施し、その集大成として、成果報告会・修了式を開催。

2. 第7期参加企業

- ◆ なでしこ銘柄、ダイバーシティ経営企業100選に選定された企業を中心に、製造業、金融業など、幅広い業種・規模の企業（大企業／中小企業）が参加。加えて、新たに公募枠を設け、中小企業5社を含む15社を採択。主に、部長職クラス等の女性が対象。

あいおいニッセイ同和損害保険、アイシン、出光興産、伊藤忠テクノソリューションズ、ウォータースタンド、SCSK、大川原製作所、大阪ガス、オタフクソース、関西電力、技研製作所、熊谷組、KMユナイテッド、コーセー、コスモエネルギーHD、CTIグランドプランニング、住友林業、積水ハウス、大広、太陽誘電、大和証券、タピック沖縄、チョープロ、帝人、凸版印刷、トヨタ車体、日東電工、日本水産、日本製鉄、日本生命保険相互会社、日本電産、長谷工コーポレーション、パナソニック、日立造船、ブリヂストン、ボルテックス、丸紅、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上火災保険、明治、リコー、ローソン 他 計43社（五十音順）

3. 成果報告会・修了式の様子

- ◆ 日本経団連会長の立場という設定で、各グループが政策提言を発表。※太字：最優秀提言賞

- (Aグループ) データ利活用に関する官民の連携
～新たな価値創出・ビジネスチャンスの拡大のために
- (Bグループ) 新しい価値観 おとなの WakuWaku で実現するwell being な社会
- (Cグループ) **脱炭素社会の実現に向けた家庭部門の脱炭素推進**
～住宅の高性能化、生活者の行動変容をめざす取り組み～
- (Dグループ) 日本の経済成長に繋がるイノベーションを興すための提言
- (Eグループ) **人的資本経営－複業のすすめ－**
- (Fグループ) 日本を強くする！人材の活性化 x 流動化
～人材が縦横無尽にチャレンジする日本へ
- (Gグループ) すべての人がイノベーションを創出する社会へ
～日本もできる！ジェンダーギャップ指数の改善～

4. 来賓 ※ご役職は当時のもの

- ・塚原 月子氏（株式会社 カレイディスト 代表）
- ・正木 義久氏（日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション本部長）
- ・室伏 きみ子氏（国立大学法人 お茶の水女子大学 名誉教授）
- ・望月 晴文氏（東京中小企業投資育成株式会社 社長）



経済産業省
太田副大臣主催者挨拶

◀キックオフセッションの様子
(令和4年6月24日開催)

